

西宮市議会議員

宮本けいこ通信 vol.8

想いつなぐ



現在2期目、建設常任委員、広報委員

子育て真っ最中!! 3児のママ議員

日々の活動はこちらから▶



Instagram X (旧Twitter)▶



夙川河川敷緑地の桜

令和8年度 西宮市施政方針等より一部抜粋

- ・ JR西宮駅南西地区の沿道施設及び複合施設の整備
- ・ コミュニティ交通及び自動運転バス実証実験
- ・ 新中央図書館の基本構想及び基本計画の具体化
- ・ 市営住宅の入居者選考にポイント方式を導入
- ・ 短期集中型通所サービス「リエイブルメントサポート」(もう一度元気な自分を取り戻す!)モデル実施
- ・ 子供たちの朝の居場所づくり(小学校での見守り)
- ・ 夙川公園桜の名所保全管理計画の策定

認知症の早期発見・早期対応を!

認知症無償診断事業、認知症賠償保険事業が実施されます

認知症無償診断事業は65歳以上の市民を対象に無料で2段階の検査・診断を実施します。

第1段階でスクリーニング(認知機能検診)をして、認知症の兆候があった方に精密検査(画像診断、血液検査等)を実施します。必要に応じて医療・介護など支援へとつなぐ体制を構築することで、認知症の進行を遅らせることができ、ご本人やご家族の不安を軽減するとともに認知症になっても自分らしく望む暮らしが継続することにつながります。

また、認知症賠償保険事業もあわせて実施し、市が契約者となり認知症の人が保険加入することで、認知症のご本人とその家族が安心して外出し、これまでの生活を続けられることを目的としています。引き続き誰もが安心できる社会の仕組みづくりを進めてまいります。



宮本けいこ プロフィール

1979年4月生まれ 津門稲荷町在住
 大阪市立工芸高等学校 ビジュアルデザイン科卒
 結婚後、平成医療学園専門学校 鍼灸師科卒
 鍼灸師・障害者スポーツ指導員
 西宮市立津門小学校PTA副会長・地区子ども会総務役員

2021年7月、西宮市議会議員だった夫(宮本かずなり)が会議中に脳幹出血で倒れて意識不明に。そのまま息を引き取った。その日から突然3人の子どものシングルマザーに(子ども1歳、6歳、12歳(当時))。夫の遺志をつなぎ、またひとり親や立場の弱い人に寄り添いたいと立候補を決意。

2022年3月西宮市議会議員補欠選挙で初当選。2023年4月西宮市議会議員選挙で4,229票のご信託を賜わり2期目当選。建設常任委員会委員、広報委員、西宮市社会福祉審議会委員(民生委員審査専門分科会)

5歳の保育園児(やんちゃ!)、10歳小学生、16歳高校生を育てながら日々議員活動奮闘中!

ご意見・ご相談はこちらまで

メール・・・miyamoto.keiko4@gmail.com
TEL/FAX・0798-34-1760

メールはこちらから→

留守番電話になっておりますのでご連絡先とメッセージをお願いします



市の新たな動きについて表向きもご覧ください。▶

『西宮市不登校対策パッケージ』

～誰もが安心してつながり、学べる環境づくり～

西宮市の不登校児童生徒は令和6年度に小学校で499人、中学校で737人、計1,236人と令和3年度以降は4年連続で1,000人を超え続けています。不登校を生み出しにくい学校をつくるために3つの柱が示されました。

- ① 不登校を生み出しにくい「魅力ある学校」づくり
- ② 一人一人に寄り添う校内環境づくり
- ③ 多様な「学びの場」の充実

各校の校内サポートルームは可能な限り毎日利用できるように変わる予定です。また、誰もがちょっと休憩したい、ほっとしたいときに寄れる場所となるような運営も求めています。



『西宮市市民・大学共創プラザ』

大学交流センターと市民交流センターを再編し、市民・大学共創プラザが開設！（アクタ西宮東館6階）貸館業務に加え、市民や大学・学生、地域活動団体、公益活動団体、企業など多様な主体が共に考え連携して取り組み、地域課題の解決を支援する場です。地域活動を通じて「何かやってみたい」「誰かとつながりたい」などつながる場としての活用が期待されています。

西宮中央運動公園再整備事業

西宮中央運動公園の再整備事業での埋蔵文化財本発掘調査の調査成果について2月に現地説明会が開催され、1000人を超える多くの方にご参加いただけたそうです！市のホームページでも随時進捗報告が確認できます。本発掘調査と並行しながら新陸上競技場の建設工事がスタートし、令和10年度に供用開始予定です。公園全面の供用開始は当初から3年程度遅れて令和14年3月頃となる見込みです。



流路から出土した古墳時代の土器（須恵器・提瓶）



古代（奈良時代）の流路（北から）

民間施設を活用した学校水泳事業のモデル実施

近年、学校の水泳授業では気温上昇による熱中症リスクの高まりや天候不順による授業中止、学校プールの老朽化など、さまざまな課題が生じています。また、プールサイドで見学する児童の健康面への懸念も指摘されています。こうした状況を踏まえ、令和8年度は3校（西宮浜義務教育学校（前期・後期課程）、高須小学校、深津小学校）、令和9年度までの2年間で段階的なモデル実施が行い、市の実情に合った効果的・効率的な水泳授業の在り方について検証が行われます。



宮本けいこは皆さまの声を市政に届けます
皆さまの想いを聞かせてください。ひとりひとりの声を届けます
困ったときに困ったと言える社会、助けての声が届く西宮へ

西宮市議会のホームページはこちらから →

